

記者発表資料

**R2国道17号高松立体並榎地区改良工事において
「公募型指名競争入札方式」による工事発注を試行します。
不調・不落対策として、「見積活用方式」
「間接工事費実績変更方式」「難工事指定」を試行します。**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難である等の工事内容や地域特性を踏まえ、競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、「公募型指名競争入札方式」による工事発注を試行します。

また、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道17号高松立体並榎地区改良工事」は、国道17号の群馬県高崎市常盤町～並榎町において、国道17号前橋方面からの車線減少を解消（1車線→2車線）し、スムーズな交通の流れを確保することを目的に、国道18号の合流方法を改善するため、補強土壁工や側溝工などの道路改良工事を行うものですが、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、以下の試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

②「間接工事費実績変更方式」

本工事は、「安全費」「運搬費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

③「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000（代）

副所長（技） 山崎 茂（やまざき しげる） 内線：204

工務第二課長 島倉 照勝（しまくら てるかつ） 内線：411

高崎河川国道事務所ホームページ

《R2国道17号高松立体並榎地区改良工事 工事概要》

- (1) 工事名 : R2国道17号高松立体並榎地区改良工事
- (2) 工事場所 : 自) 群馬県高崎市常盤町 ぐんまけんたかさきしとぎわちよう 至) 同県同市並榎町 なみえまち
- (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和3年3月31日まで
- (4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)【試行】
- (5) 工事種別 : 一般土木工事 C
- (6) 工事内容(概要)
- ・路体盛土工 480m³ ・路床盛土工 110m³ ・置換工 550m³
 - ・アンカー補強土壁工 361m² ・軽量盛土工 161m³
 - ・側溝工 201m ・剛性防護柵工 61m ・構造物撤去工 1式
 - ・付属施設工 1式 ・仮設工 1式
- (7) 「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」の試行について
競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者の要件は求めない)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。
なお、総合評価の評価項目は「災害協定等に基づく活動実績」を加算点としています。
- (8) 「見積活用方式」について
- ①見積の提出を求める工種
直接工事費のうち、「置換工」「アンカー補強土壁工」「軽量盛土工」「側溝工」「剛性防護柵工」に係るもの
- ②見積の提出を求める理由
本工事は、新興住宅地に近接する狭小な施工ヤードでの工事であること、また、工事期間中、新興住宅地前の市道を常に交通規制しつつ、沿道住宅からの車両や住民の出入りを確保しての施工となることから、作業効率の低下が懸念されます。
以上の点から、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため「見積活用方式」を試行します。
- (9) 「間接工事費実績変更方式」について
- ①実績により変更を行う工種
共通仮設費(率分)のうち「安全費」「運搬費」
- ②実績により変更を行う理由
本工事は、新興住宅地に近接する狭小な施工ヤードでの工事であること、また、工事期間中、新興住宅地前の市道を常に交通規制しつつ、沿道住宅からの車両や住民の出入りを確保しての施工となることから、工事地域内全般の安全管理上の監視、連絡等に要する費用が多くなるほか、資機材置場の確保が困難であり、資機材置場と現場の往復が日々何度も発生するため、運搬に要する費用が多くなる懸念があります。
以上の点から、「安全費」「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。
- (10) 「難工事指定」について
本工事は、新興住宅地に近接する狭小な施工ヤードで、かつ、交通量の多い現道上の交通規制を伴う夜間工事であることから、「難工事指定」を実施します。
「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加算対象となります。
- (11) スケジュール
- 入札公告 : 令和2年 7月22日(水)
 - 開札日 : 令和2年 9月24日(木)

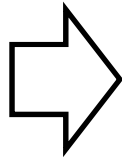
公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

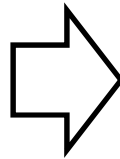
【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

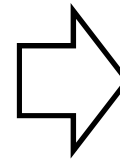


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



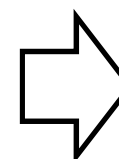
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

(3/3)

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上